

## 2019 年 9 月の熱中症による救急搬送状況

熱中症による救急搬送人員について、2019 年 9 月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

### 概 要

- 2019 年 9 月の全国における熱中症による救急搬送人員は 9,532 人でした。これは、昨年 9 月の救急搬送人員 2,811 人と比べると 6,721 人多くなっています。
- 全国の熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
  - 救急搬送人員の年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。
  - 搬送された医療機関での初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症、重症の順となっています。
  - 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで公衆（屋外）、道路、教育機関の順となっています。
  - 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員は、鹿児島県が最も多く、次いで宮崎県、高知県、鳥取県、愛媛県の順となっています。
- 報道資料の入手方法  
報道資料については、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）の「報道資料」欄及び消防庁ホームページ（<https://www.fdma.go.jp/>）に、本日（29日（火）14時）を目途に掲載します。



(連絡先)  
消防庁救急企画室  
担当：三島、増田、新井  
電話：03-5253-7529  
FAX：03-5253-7532